



◆ 早崎百合子 議員

問 「まるごと肉まつり養老」は町外からも誘客を図るため養老公園で10月20日・21日に実施する。

答 「養老フェスタ」は町民参加型で町の総合体育館、中央公園多目的広場で11月10日・11日に実施する。



昨年開催の肉まつり

問 ネクスト100プロジェクト事業の内容は。

養老改元1300年祭事業の評価・検証を、過性のイベントに終わらせることのないよう、新たに「ネクスト100プロジェクト事業」を立ち上げ実施する。同事業を企画・運営するため、各種団体・関連機関の代表等で構成する実行委員会が設立された。

問 事業の町内外へのPR・実施内容は。

答 イベントの周知方法については実行委員会と協議し、適切な時期に効率的・効果的に行う。

町長

実行委員会企画運営

新プロジェクト事業は

高齢者の技能発揮・支援は

町長 補助金の適正執行に努力

問 高齢者福祉の観点から行政側の支援は。

答 平成29年度町の発注金額は2401万8218円。シルバー人材センターは高齢者社会に向け高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織として安定した運営に向け、引き続き補助金の適正な執行に努めていく。

問 高齢者福祉の観点から行政側の支援は。

答 5月31日現在、229名。男性146名、女性83名。年齢構成は64歳以下13名。65〜69歳77名。70歳以上139名。

問 会員登録状況は。

シルバー人材センターとは、働く機会を得たい、社会に役立つ仕事がないなど、健康で働く意欲がある高齢者の方にふさわしい仕事を家庭、企業、公共団体等から引き受け、会員に提供する都道府県知事許可の公益法人である。空き家・空き地の管理から空き家見守りサービスなど今後の事業拡大に期待している。

問 新生養老まちづくり構想の事業実績及び評価・検証は総合的に甘くはないか。また、郷づくり会社の進捗状況△が「大きく未達」、自己評価ⅡB「事業変更」との判定であるが、町長の思いとは乖離していないか。

答 当初想定していた私自身の思いとスピードの部分で若干ギャップはあったと感じている。

問 新生養老まちづくり構想の事業実績及び評価・検証は総合的に甘くはないか。また、郷づくり会社の進捗状況△が「大きく未達」、自己評価ⅡB「事業変更」との判定であるが、町長の思いとは乖離していないか。

答 本町からの業務を請け負う場合、法に抵触する恐れがあることから取締役を退任した。代表取締役社長交代の理由は、事業の進捗と会社経営が進んでいない理由と伺っている。

問 町長の取締役退任、及び代表取締役社長の交代理由は。

答 町では民間企業の持つ知恵や資金を活用することが必要であると考え、従来の発想にとらわれない優れた提案や出資等を募り、同一組織内で一緒になって意思決定を行い、多くの事業を行う為、会社を設立した。

問 養老の郷づくり会社が平成27年5月25日に設立したが、この会社は何を求め、何を期待したのか。



◆ 田中 敏弘 議員

問 昨年開催された子ども議会についても議案については、多大な収穫があったと感じているが、今後議員対象者を拡大し、中学生と高校生合同の議会開催を望むが。

答 高田中・東部中両校には美術部や創作部があり、生徒に呼びかけることは可能。ポスターについては「議会傍聴啓発ポスター応募要項」を作成すれば学校対応も可能であり、早急をお願いしたい。



昨年開催の子ども議会

教育長

今後の検討課題

若者議会開催を

まちづくりの推進は

町長

ハード事業に進捗遅れ